

# 商工会議所 LOBO (早期景気観測)

2022年1月調査結果

2022

1

## 新型コロナウイルスによる経営への影響

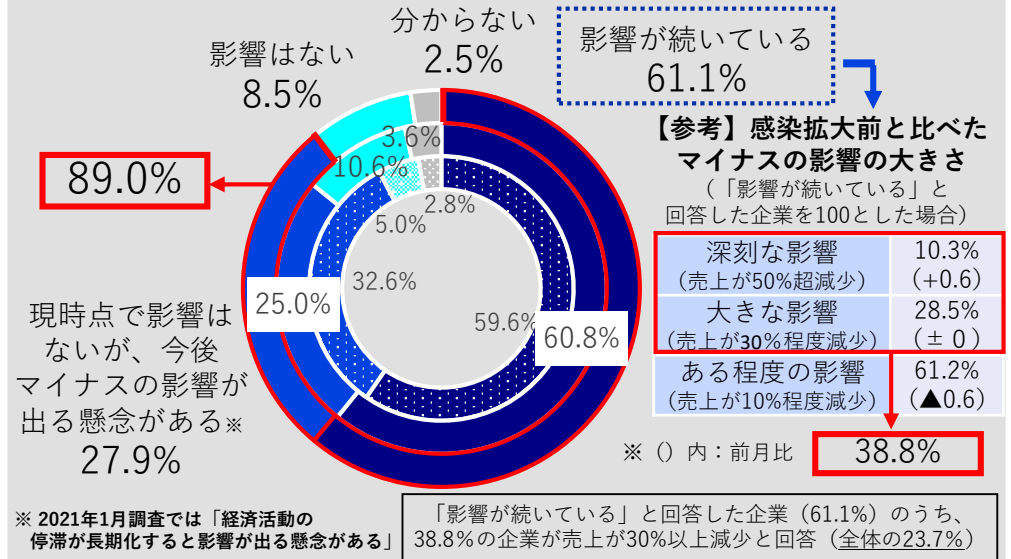
### オミクロン株の感染拡大により約9割の企業に影響 足元の資金繰り状況は落ち着くも返済不安増す

- 新型コロナウイルスによる経営への影響について、「影響が続いている」は61.1%と、2021年12月調査から0.3ポイント増加。「現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある」をあわせると89.0%となり、同3.2ポイントの増加となった。
  - 新型コロナウイルスの影響を踏まえた資金繰りの対応については、「金融機関への相談を行った」が2021年1月調査から9.3ポイント減少の15.6%、「資金繰りに不安はあるが、相談していない」は同1.5ポイント減少の26.8%となった。また、「資金繰りの相談は現時点で必要ない」は同10.8ポイント増加の57.6%となった。
  - 一部の地域でまん延防止等重点措置が適用されたこともあり、経営への影響が続いている企業は3か月ぶりに増加し、今後の懸念と合わせると約9割の企業に影響が生じている。足元の資金繰りについては、政府支援策の効果もあり、前年同月調査に比べて落ち着きを取り戻している。一方で、コロナ禍が長期化する中、コロナ関連融資の返済が迫る企業においては先行きへの不安の声も聞かれた。
- 中小企業の声**

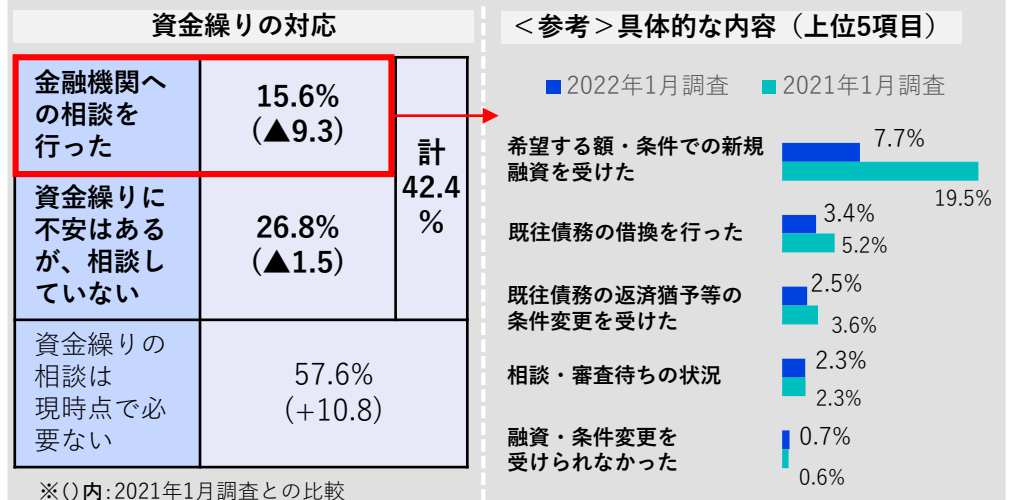
  - 年末年始は売上が回復傾向にあったが、まん延防止等重点措置が適用され、売上が急降下している。（岩国 百貨店）
  - 当面の資金繰りの手当てはできているが、この先2年程度は売上低迷が続くと予想しており、コロナ関連融資の返済が始まれば資金繰りは厳しくなる。（各務原 航空機・附属品製造業）

### 新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響

※円グラフの外側が2022年1月調査、中央が2021年12月調査、内側が2021年1月調査（前年同月）



### 新型コロナウイルスの影響を踏まえた資金繰りの対応



## 2021年度の新卒採用（2022年4月入社）の動向

### 新卒採用を実施した企業は前年比増加も 計画通りの採用ができなかった企業が約6割

- 2021年度の新卒採用（2022年4月入社）を「実施した」企業は34.4%と、2021年1月調査と比べ2.4ポイント増加。「今年度は実施しなかった」は2.4ポイント減の17.9%、「そもそも新卒採用をしていない」は前回調査と同じ47.7%となった。
- 新卒採用を実施した企業のうち、「計画通りに採用できた」企業は39.7%と、2021年1月調査と比べ5.3ポイント減少。「採用できたが計画した人数には満たなかった」企業は4.2ポイント増の37.4%、「募集したが採用できなかった」企業は1.1ポイント増の22.9%となった。
- 2021年1月調査と比較すると、新卒採用を実施した企業は増加しているものの、約6割の企業が計画通りの採用できていない結果となった。2割超の企業は募集をしても採用できなかったと回答しており、コロナ禍からの活動回復を見据え、企業の採用意欲は戻りつつあるものの、採用競争の激化などから中小企業の人材確保は厳しさが増している様子がうかがえる。

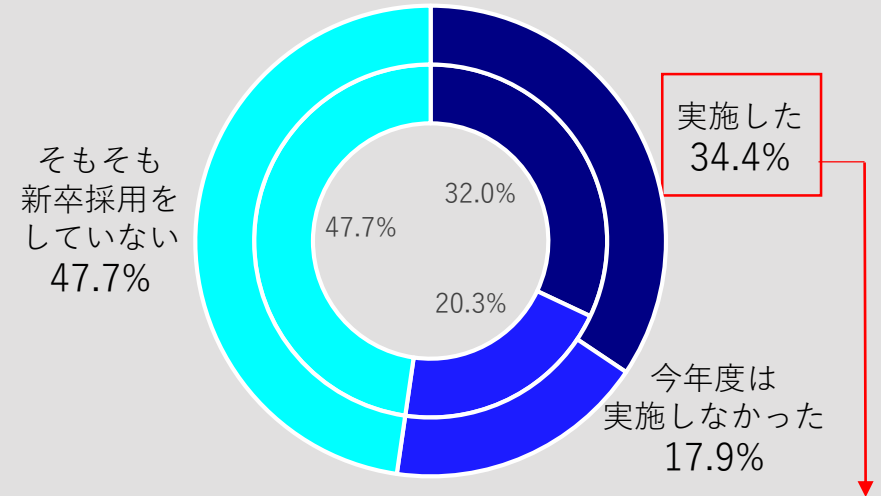


中小企業の声

- 採用活動は売手市場の状況であり、技術職大卒社員の採用が計画した人数に満たなかった。働き方改革を進め、会社のイメージを向上させられるかが課題である。（帯広 一般工事業）
- 人手不足ではあるが、新型コロナウイルスの影響で予約のキャンセルなども発生するため、今後の見通しが立たず、採用計画が立てられない。（高知 宿泊業）

### 2021年度の新卒採用の動向（全産業）

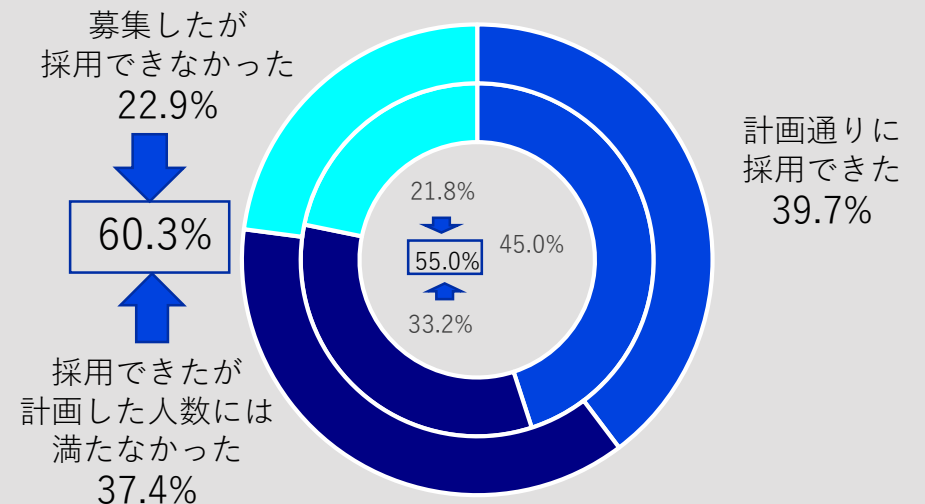
※円グラフの外側が2022年1月調査、内側が2021年1月調査



### 充足状況について（全産業）

※新卒採用を「実施した」企業が回答

※円グラフの外側が2022年1月調査、内側が2021年1月調査





## 2022年1月の動向

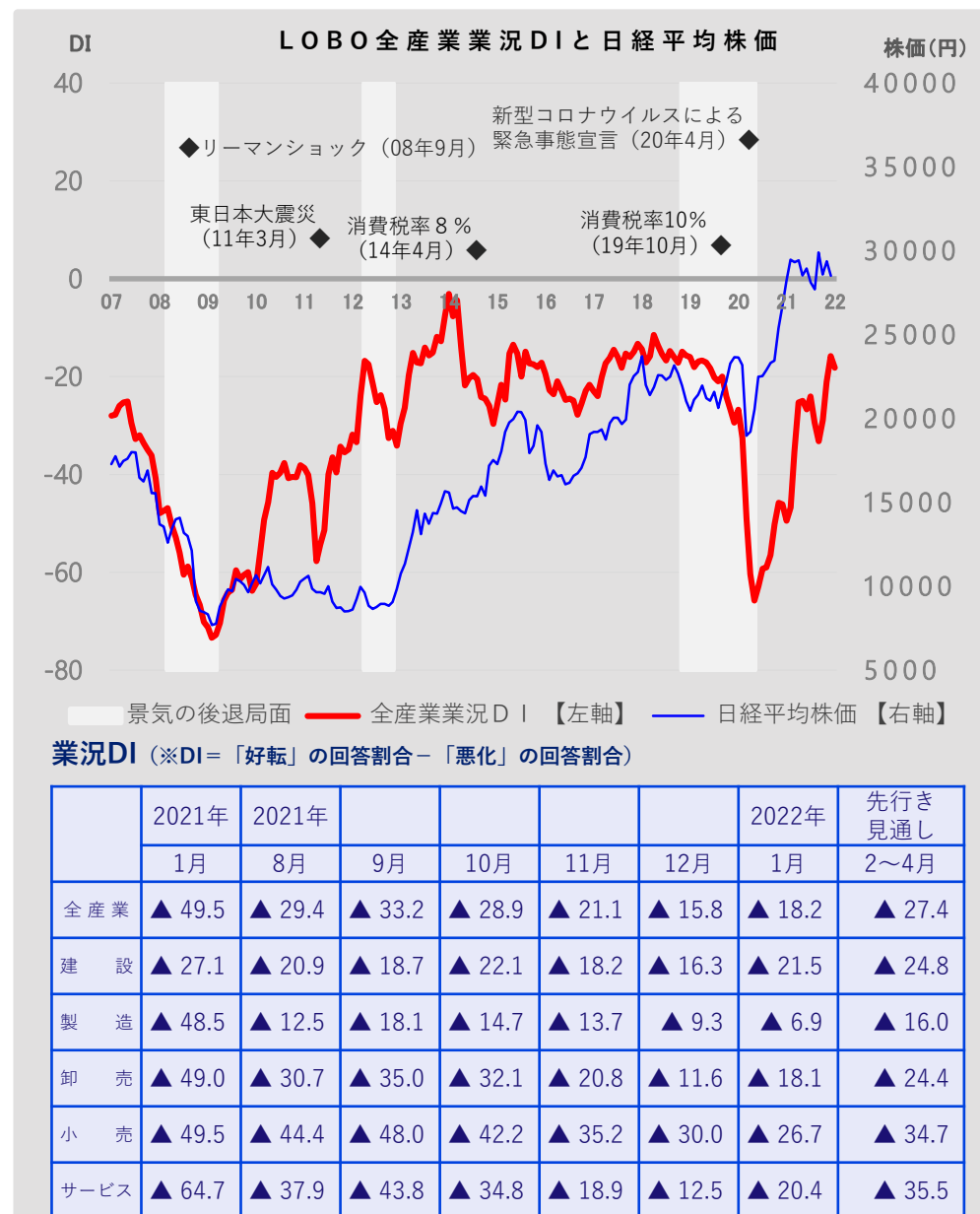
### 業況DIは、オミクロン株の感染拡大により悪化 先行きは、感染急拡大への警戒感から厳しい見通し

#### ● 全産業合計の業況DIは、▲18.2（前月比▲2.4ポイント）

- 自動車関連で生産回復の動きが見られる製造業や、消費者マインドの回復により年始の初売りが好調だった小売業の業況感が改善した。一方、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大に伴い、飲食業、宿泊業などのサービス業では、イベントの中止や予約のキャンセルが相次ぎ、客足が急減した。また、幅広い業種で、部品供給制約による納品遅れ、原油価格を含む資源価格や原材料費の上昇によるコスト増加が続いており、中小企業の業況改善に向けた動きは継続も、足元で鈍さが見られる。

#### ● 先行き見通しDIは、▲27.4（今月比▲9.2ポイント）

- オミクロン株の感染急拡大による営業時間短縮や人流抑制などの活動制約、春の観光需要喪失を不安視する声は多い。また、部品供給制約の長期化、資源価格の高騰、円安、人件費上昇などのコスト増加分の価格転嫁の遅れによる業績悪化への懸念もあり、中小企業の景況感は先行きへの警戒感が強まり、厳しい見方となっている。

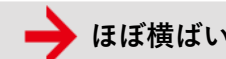


業種別の動向

前月と比べたDI値の動き



改善



ほぼ横ばい



悪化



公共工事の下支えや住宅関連の持ち直しが続くものの、木材などの資材価格上昇や住宅設備機器の納期遅れの継続に加え、技術者をはじめとした人手不足による受注機会の損失が足かせとなり、悪化。

- 「地域の公共工事の下支えがあり、売上は堅調。ただし、繰越工事量が少ないため、今後の早期発注に期待している」（一般工事業）
- 「メーカーの在庫不足により設備機器の入荷時期が遅れ、工期が長引いている。工期延長に伴い経費が増加しているものの、費用の補填がないため採算が悪化している」（管工事業）



鋼材や樹脂など原材料費上昇による収益圧迫や部材の納品遅れの影響が続くものの、半導体関連の工作機械が堅調に推移するほか、自動車関連の生産回復が寄与し、改善。

- 「産業用設備機械や建築用部材など各方面からの引き合いが伸びており、経済回復の兆しと在庫確保に向けた動きを感じている。一方、原材料費や人件費のコストが増加しており、販売価格への転嫁を検討している」（金属加工機械製造業）
- 「年末年始はスーパーマーケットからの受注が好調だったものの、小麦粉などの原材料費や燃料費の上昇が続いており、先行きに対する不安感は拭えない」（食料品製造業）



物流費上昇などコスト増による収益圧迫が続いているほか、オミクロン株の感染拡大に伴い、外食向けの引き合いが鈍化した飲食料品関連が押し下げ、悪化。また、建設業関連では商品の納期遅れ・欠品を指摘する声が聞かれた。

- 「木材の価格上昇が続いているほか、合板の入手が困難になっている。給湯器やトイレなどの住宅設備の納期も長期化しており、販売機会の損失が生じている」（建築材料卸売業）
- 「飲食店など外食向けの引き合いが一時的に伸びていたものの、年明け以降新型コロナウイルスが急速に感染拡大したことから、受注量に影響が出始めている」（食料品卸売業）



初売りが好調だった百貨店の売上増加や、寒波到来の影響もあり衣料品を中心とした冬物商材の需要増が寄与し、改善。一方、食料品などの仕入れコスト増加を指摘する声も聞かれた。

- 「年末年始は帰省客もおり、前年度並みの売上は維持できた。ただし、小麦、油などの価格が上昇していることに加え、人手不足による人件費も上昇しており、経営環境は厳しくなっている」（総合スーパー）
- 「冬物セールの真っ只中であり、売上は増加した。オミクロン株の感染拡大により需要が急速に低下することが不安ではあるものの、円安や資源高により商品の調達コストが増加しており、今後の値上げは避けられない」（衣料品小売業）



運送業では燃料費の高騰による負担増が続いているほか、オミクロン株の感染拡大に伴い、新年会などのキャンセルが相次いだ飲食・宿泊業の利用客が急減したことが押し下げ要因となり、悪化。

- 「順調に観光客や団体客の予約が増えていた矢先にオミクロン株が全国的に感染拡大し、軒並みキャンセルとなってしまった。今後、まん延防止等重点措置の適用地域が拡大すれば、一段の売上減少が予想され、先行きが不安である」（飲食業）
- 「原油価格の高止まりが経営を圧迫している。複数の取引先に対し、運賃の値上げを交渉しているが、思うように進まず苦慮している」（運送業）

## ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き



改善



ほぼ横ばい



悪化



北海道

**北海道は、悪化。**製造業では、住宅投資の持ち直しを背景に製材関連は堅調なものの、食料品製造関連で原材料価格の高騰が収益を圧迫したほか、印刷関連ではオミクロン株の感染拡大に伴うイベントの中止等に伴い、売上が悪化。卸売業では、運送費や包装資材の価格上昇や、給湯器をはじめとする住宅設備機器等の入荷遅れにより建設業関連で売上・採算ともに悪化。また、大雪の影響により物流に影響が生じたとの声も聞かれた。



東北

**東北は、改善。**製造業では、原材料価格の上昇が続くものの、生産調整が続いていた自動車関連で生産が回復基調にあるほか、国内外の設備投資の持ち直しにより、生産用機械関連で工作機械等の引き合いが増加し、売上が改善。小売業では、年始の初売りが好調に推移したことで、百貨店や商店街を中心に業況感が改善。但し、オミクロン株の感染拡大による先行き不安の声や大雪による除雪経費等のコスト増を指摘する声も聞かれた。



北陸信越

**北陸信越は、悪化。**建設業では、木材をはじめとして幅広い資材で価格上昇が続くほか、北陸新幹線延伸工事の完工が近付く中で、公共工事が一部で弱含み、売上・採算がともに悪化した。また、サービス業では、運送業で人手不足や燃料費の負担増を指摘する声が聞かれたほか、オミクロン株の感染拡大の影響により、飲食・宿泊業を中心に客足の低迷に加え、予約のキャンセルが増加し、業況感が悪化した。



関東

**関東は、悪化。**建設業では、首都圏の再開発等による民間工事は底堅く推移するものの、技術者不足による受注機会の損失および外注費の増加等の影響を受け、業況感が悪化した。また、サービス業では、飲食・宿泊業を中心に年末年始は売上が持ち直しつつあったものの、人件費等のコスト増により、採算が悪化したほか、オミクロン株の感染拡大を受け、足元で客足の低迷や予約キャンセルの増加がみられ、売上也悪化した。



東海

**東海は、改善。**製造業では、一部で影響は残るものの、半導体不足等による生産調整が続いていた自動車関連が回復基調にあるほか、カーナビ等の周辺機器を扱う電気機械工業でも引き合いが増加し、売上が改善。卸売業では、自動車の生産回復を受けて製造業関連を中心に引き合いが増加し、売上が改善した。但し、飲食料品関連では仕入価格上昇による収益の悪化や、オミクロン株の感染拡大による先行き不安の声が聞かれた。



関西

**関西は、悪化。**建設業では、設備投資等の民間工事が持ち直しつつあるものの、資材価格上昇に加え、給湯器をはじめとする住宅設備機器等の入荷遅れが工期の延長を招き、業況感が悪化した。また、卸売業では、原油価格上昇による運送費や包装資材の高騰により採算が悪化したほか、オミクロン株の感染拡大により、ホテルや飲食店等を取引先とする飲食料品関連で引き合いが減少し、売上也悪化した。

## ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き



中国

**中国は、ほぼ横ばい。**小売業では、客足が足元で減少しているものの、百貨店等において年始の初売りが好調に推移したほか、オミクロン株の感染拡大に伴う巣ごもり需要の伸長により、スーパー等の小売店において冷凍食品等の引き合いが増加し、売上が改善した。一方、サービス業では、広島県と山口県におけるまん延防止等重点措置の適用を受け、営業時間の短縮や酒類提供の制限が広がり、飲食・宿泊業を中心に売上が悪化した。



四国

**四国は、悪化。**建設業では、技術者不足に伴う外注費等のコスト増に加え、資材価格の上昇により、発注者との間で請負金額との折り合いがつかず、受注の見送りが生じるなど、売上・採算ともに悪化。また、卸売業では、原油価格上昇による運送費や包装資材の高騰により採算が悪化したほか、オミクロン株の感染拡大により、ホテルや飲食店等を取引先とする飲食料品関連で引き合いが低迷し、売上が悪化した。



九州

**九州は、悪化。**サービス業では、ソフトウェア関連は底堅く推移したものの、沖縄県におけるまん延防止等重点措置の適用を受け、飲食・宿泊業を中心に客足の低迷や予約キャンセルの増加がみられ、業況感が悪化。卸売業では、ホテルや飲食店等を取引先とする飲食料品関連で売上が悪化したほか、建設業関連では資材価格上昇が木材等のみならず、セメントや管材等にも広がり、仕入価格が上昇したことで採算も悪化した。

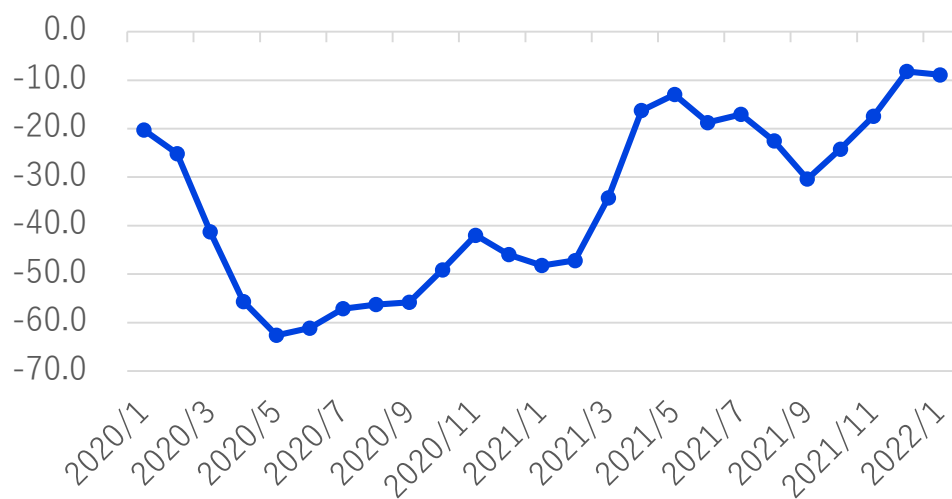
	2021年	2021年					2022年	先行き
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	見通し
全国	▲ 49.5	▲ 29.4	▲ 33.2	▲ 28.9	▲ 21.1	▲ 15.8	▲ 18.2	▲ 27.4
北海道	▲ 50.9	▲ 27.0	▲ 26.4	▲ 17.4	▲ 19.7	▲ 18.8	▲ 27.3	▲ 28.6
東北	▲ 56.2	▲ 36.3	▲ 38.6	▲ 35.6	▲ 30.3	▲ 28.9	▲ 22.6	▲ 37.3
北陸信越	▲ 50.3	▲ 19.5	▲ 26.1	▲ 31.5	▲ 11.7	▲ 1.7	▲ 9.7	▲ 23.3
関東	▲ 46.6	▲ 26.6	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 20.1	▲ 10.6	▲ 14.5	▲ 21.9
東海	▲ 39.9	▲ 19.1	▲ 31.3	▲ 31.5	▲ 16.8	▲ 17.7	▲ 14.4	▲ 21.9
関西	▲ 52.8	▲ 35.8	▲ 38.8	▲ 30.6	▲ 24.3	▲ 14.6	▲ 16.1	▲ 26.6
中国	▲ 54.8	▲ 34.4	▲ 38.1	▲ 32.3	▲ 23.1	▲ 22.2	▲ 21.3	▲ 29.5
四国	▲ 42.6	▲ 39.7	▲ 38.9	▲ 32.0	▲ 28.2	▲ 22.8	▲ 32.5	▲ 36.5
九州	▲ 57.2	▲ 39.6	▲ 39.0	▲ 28.6	▲ 19.6	▲ 14.8	▲ 17.1	▲ 34.2

## 参考：DI時系列表

### 売上DI

(※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合)

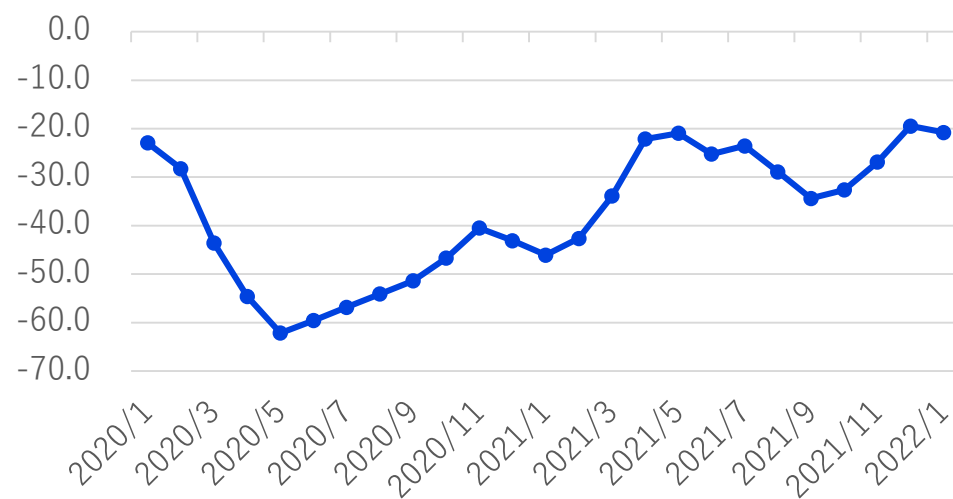
	2021年						2022年	先行き見通し
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~4月
全産業	▲ 48.2	▲ 22.5	▲ 30.4	▲ 24.2	▲ 17.4	▲ 8.2	▲ 8.9	▲ 21.2
建設	▲ 23.6	▲ 19.4	▲ 20.2	▲ 15.4	▲ 15.8	▲ 16.0	▲ 19.8	▲ 17.1
製造	▲ 46.8	▲ 5.9	▲ 11.7	▲ 12.6	▲ 7.8	▲ 0.4	▲ 1.3	▲ 11.5
卸売	▲ 46.9	▲ 19.7	▲ 25.3	▲ 19.5	▲ 11.3	0.0	▲ 2.5	▲ 16.4
小売	▲ 45.7	▲ 42.8	▲ 48.7	▲ 39.7	▲ 33.0	▲ 19.0	▲ 17.2	▲ 31.6
サービス	▲ 67.4	▲ 25.1	▲ 42.1	▲ 30.6	▲ 18.0	▲ 5.9	▲ 5.4	▲ 26.9



### 採算DI

(※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合)

	2021年						2022年	先行き見通し
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~4月
全産業	▲ 46.1	▲ 28.9	▲ 34.4	▲ 32.6	▲ 26.9	▲ 19.5	▲ 20.8	▲ 27.5
建設	▲ 27.9	▲ 24.2	▲ 22.0	▲ 23.3	▲ 22.7	▲ 20.2	▲ 22.4	▲ 24.2
製造	▲ 44.1	▲ 15.0	▲ 22.2	▲ 26.1	▲ 21.6	▲ 15.6	▲ 19.4	▲ 23.3
卸売	▲ 42.0	▲ 27.7	▲ 31.6	▲ 26.0	▲ 19.2	▲ 10.7	▲ 17.6	▲ 22.3
小売	▲ 42.8	▲ 43.3	▲ 46.7	▲ 41.5	▲ 37.1	▲ 27.1	▲ 26.5	▲ 30.7
サービス	▲ 63.5	▲ 33.9	▲ 45.1	▲ 40.5	▲ 30.1	▲ 20.6	▲ 17.8	▲ 33.5

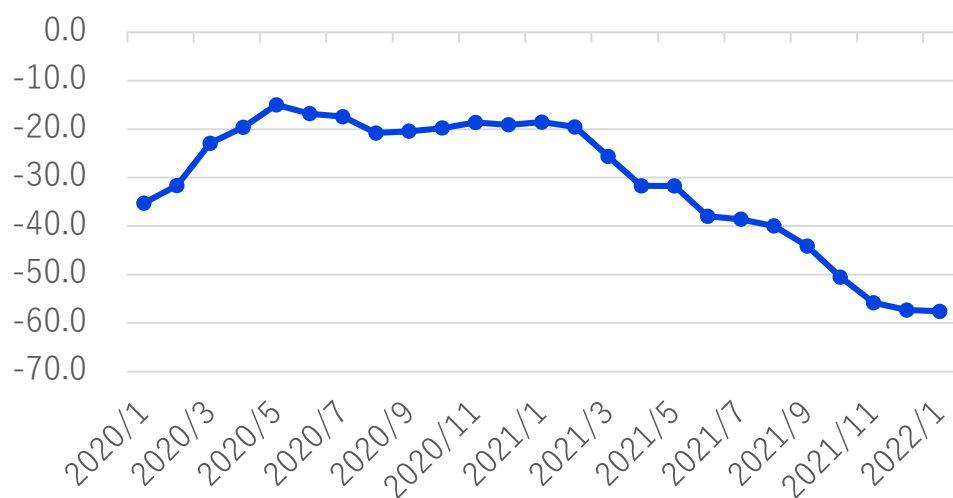




## 参考：DI時系列表

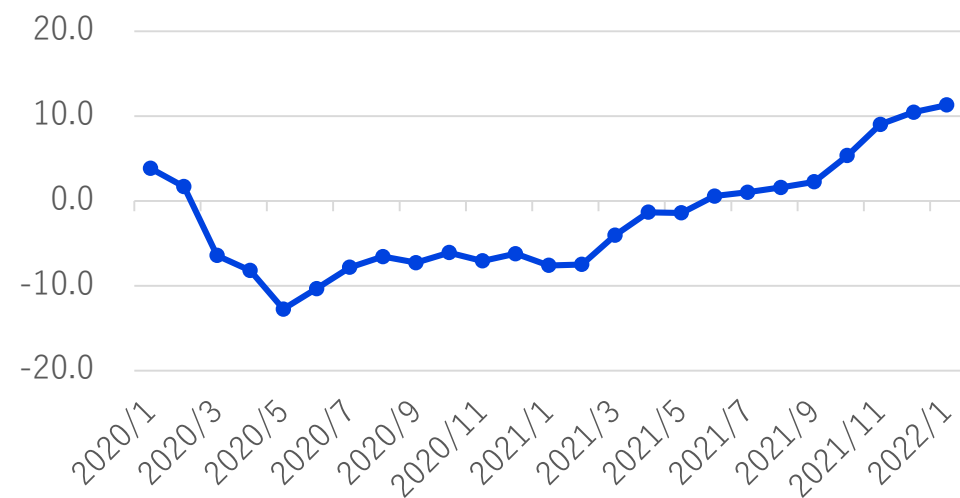
### 仕入単価DI (※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合)

	2021年						2022年	先行き見通し
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~4月
全産業	▲ 18.6	▲ 40.0	▲ 44.1	▲ 50.5	▲ 55.8	▲ 57.3	▲ 57.6	▲ 54.6
建設	▲ 25.6	▲ 59.7	▲ 60.8	▲ 68.9	▲ 76.7	▲ 73.7	▲ 71.4	▲ 70.8
製造	▲ 19.1	▲ 50.3	▲ 49.7	▲ 60.7	▲ 64.5	▲ 65.0	▲ 68.3	▲ 62.9
卸売	▲ 22.4	▲ 37.0	▲ 51.1	▲ 48.0	▲ 48.8	▲ 56.2	▲ 52.5	▲ 52.1
小売	▲ 16.9	▲ 28.9	▲ 36.1	▲ 38.3	▲ 45.4	▲ 46.3	▲ 50.2	▲ 47.4
サービス	▲ 13.3	▲ 28.6	▲ 31.7	▲ 40.5	▲ 45.9	▲ 48.4	▲ 46.5	▲ 43.0



### 販売単価DI (※DI=「上昇」の回答割合-「下落」の回答割合)

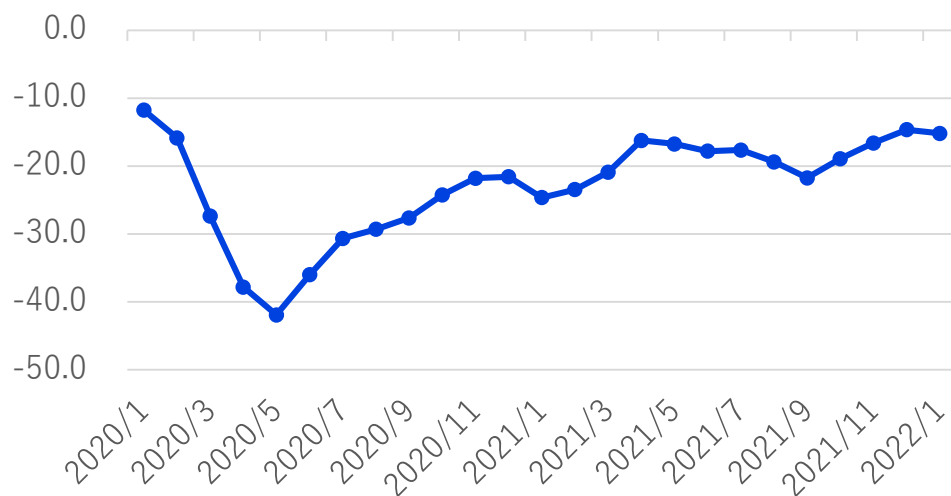
	2021年						2022年	先行き見通し
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~4月
全産業	▲ 7.6	1.6	2.2	5.3	9.0	10.5	11.3	11.3
建設	▲ 2.0	9.7	6.6	10.9	15.2	11.5	13.3	13.3
製造	▲ 6.5	3.6	1.6	6.9	9.4	10.7	11.2	12.9
卸売	▲ 4.5	11.3	21.9	19.9	18.8	27.5	25.6	28.2
小売	▲ 11.5	▲ 3.6	▲ 1.4	2.1	5.9	9.0	11.2	11.2
サービス	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.7	▲ 3.5	2.8	2.9	3.9	1.3



## 参考：DI時系列表

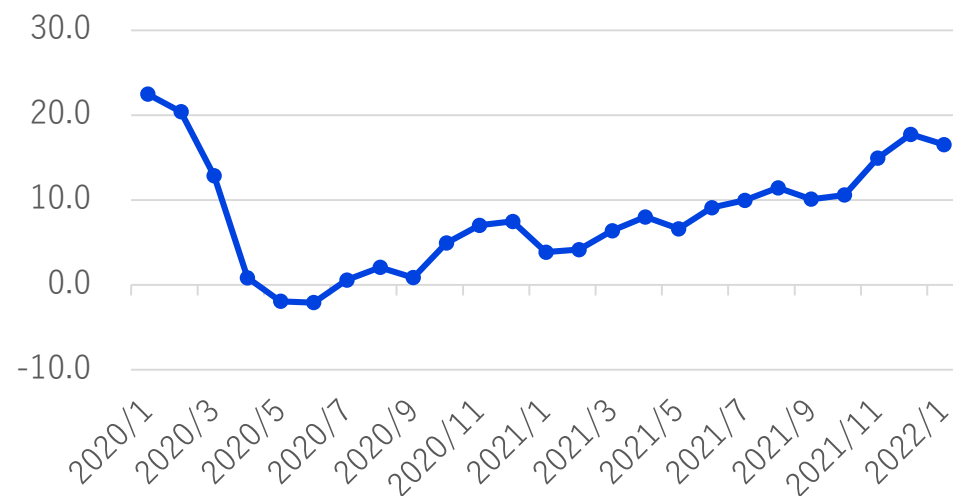
### 資金繰りDI (※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合)

	2021年						2022年	先行き見通し
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~4月
全産業	▲ 24.6	▲ 19.4	▲ 21.7	▲ 18.9	▲ 16.6	▲ 14.6	▲ 15.2	▲ 18.6
建設	▲ 7.1	▲ 6.4	▲ 4.2	▲ 6.0	▲ 5.8	▲ 5.4	▲ 7.7	▲ 9.1
製造	▲ 20.8	▲ 11.2	▲ 14.8	▲ 13.9	▲ 14.1	▲ 11.9	▲ 12.7	▲ 13.8
卸売	▲ 16.3	▲ 15.5	▲ 13.5	▲ 11.4	▲ 10.8	▲ 9.4	▲ 11.3	▲ 13.4
小売	▲ 26.4	▲ 27.4	▲ 31.0	▲ 28.5	▲ 25.9	▲ 23.4	▲ 21.4	▲ 23.3
サービス	▲ 41.3	▲ 30.2	▲ 35.5	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 18.6	▲ 19.1	▲ 27.9



### 従業員DI (※DI=「不足」の回答割合-「過剰」の回答割合)

	2021年						2022年	先行き見通し
	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~4月
全産業	3.9	11.4	10.1	10.6	14.9	17.7	16.5	17.3
建設	23.6	30.6	31.0	30.8	29.7	31.7	30.7	31.0
製造	▲ 5.0	6.8	5.7	5.5	9.0	11.9	13.3	14.6
卸売	1.2	6.7	4.2	6.1	11.3	13.7	13.0	15.1
小売	7.7	9.2	8.7	5.8	9.7	12.4	10.2	10.5
サービス	▲ 2.1	8.2	5.1	9.0	17.2	20.6	17.4	17.6



## 調査要領

### LOBOとは

「CCI (CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY) – QUICK SURVEY SYSTEM OF **LOCAL BUSINESS OUTLOOK**」  
(商工会議所早期景気観測) からとった略称

### 目的

商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査するとともに、月毎にテーマを設定して調査（例：設備投資や採用・賃金の動向等）を実施・公表することにより、企業を取り巻く経営環境や直面する課題等の現状を示すデータとして、経済対策に関する政策提言・要望活動などに活用することを目的に1989年4月より調査開始。

### 調査方法

調査協力商工会議所職員（含む経営指導員）による調査票配布・回収

### 調査項目

業況・売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員の前年同月比（前年同月と比較した今月の水準）と向こう3カ月の先行き見通し（今月水準と比較した向こう3カ月（当月を除く）の先行き見通し）、自社が直面している経営上の問題など

### ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

### 調査対象数

配布先：全国334商工会議所の会員 2,599企業

(有効回答数2,062企業[回答率79.3%])

(内訳)

建設業：428 (有効回答数339企業[回答率79.2%])

製造業：635 (有効回答数520企業[回答率81.9%])

卸売業：301 (有効回答数238企業[回答率79.1%])

小売業：526 (有効回答数430企業[回答率81.7%])

サービス業：709 (有効回答数535企業[回答率75.5%])

### 調査期間

2022年1月14日～20日

### 公表日

2022年1月31日

## 今月の調査協力商工会議所一覧

### 中国ブロック

鳥取 米子 倉吉 境港 大田  
江津 倉敷 玉野 井原 備前  
新見 呉 福山 三原 府中 三次  
大竹 因島 東広島 廿日市 下関  
宇部 防府 徳山 岩国 新南陽

### 北陸信越ブロック

新潟 上越 長岡 三条 糸魚川  
村上 十日町 新井 加茂 五泉  
富山 高岡 魚津 滑川 金沢  
小松 珠洲 白山 上田 松本  
飯田 岡谷 諏訪 下諏訪  
伊那 塩尻 信州中野 大町  
茅野 飯山

### 北海道ブロック

函館 札幌 旭川 室蘭 帯広 北見 岩見沢 根室 士別  
富良野 名寄 遠軽 芦別 夕張 苫小牧 余市 登別

### 東北ブロック

八戸 十和田 むつ 盛岡 釜石 一関 花巻 奥州  
北上 大船渡 久慈 仙台 石巻 気仙沼 古川 秋田  
能代 大館 湯沢 山形 酒田 鶴岡 米沢 新庄  
長井 天童 福島 郡山 会津若松 いわき 白河  
原町 会津喜多方 相馬 須賀川 二本松

### 九州ブロック

福岡 久留米 北九州 直方 八女  
大川 中間 佐賀 唐津 伊万里  
鳥栖 鹿島 長崎 佐世保 諫早  
熊本 荒尾 水俣 本渡 別府  
大分 日田 臼杵 津久見 都城  
宮崎 延岡 日向 小林 鹿児島  
川内 鹿屋 那覇 沖縄

### 関東ブロック

水戸 土浦 古河 日立 石岡 下館 結城  
ひたちなか 栃木 宇都宮 足利 鹿沼 小山 日光  
大田原 佐野 真岡 高崎 前橋 桐生 伊勢崎 沼田  
富岡 渋川 川越 川口 熊谷 さいたま 秩父 本庄  
深谷 蕨 草加 越谷 銚子 千葉 船橋 市川 松戸  
茂原 東金 柏 習志野 成田 八千代 東京 八王子  
武蔵野 青梅 立川 むさし府中 町田 多摩 横浜  
横須賀 川崎 小田原箱根 平塚 藤沢 茅ヶ崎 厚木  
鎌倉 三浦 相模原 大和 海老名 甲府 静岡 浜松  
沼津 三島 富士 磐田 島田 焼津 掛川 藤枝  
袋井

### 四国ブロック

徳島 小松島 吉野川 高松 丸亀  
坂出 観音寺 多度津 松山  
宇和島 今治 八幡浜 新居浜  
四国中央 西条 大洲 高知  
土佐清水

### 関西ブロック

福井 大野 鯖江 近江八幡 八日市 草津 京都  
大阪 堺 東大阪 岸和田 貝塚 八尾 豊中  
池田 泉佐野 高石 神戸 尼崎 明石 西宮  
相生 赤穂 三木 洲本 豊岡 高砂 龍野  
加古川 宝塚 奈良 大和高田 橿原 和歌山  
海南 田辺 御坊 紀州有田

### 東海ブロック

岐阜 大垣 多治見 中津川 土岐 瑞浪 恵那  
各務原 名古屋 岡崎 豊橋 半田 一宮 瀬戸  
蒲郡 豊川 刈谷 豊田 碧南 津島 春日井 稲沢  
常滑 江南 犬山 大府 四日市 津 伊勢 松阪  
桑名 上野 熊野